五中だより 第四号

山形市立第五中学校　平成三十年七月二十七日発行

「一学期を振り返って」

平成三十年度の第一学期が終了します。授業日数は七四日間。皆さんにとって、この七四日間は長かったですか？短かったですか？

一学期の最後の日にあたり、一学期を振り返ってみたいと思います。

まずは、一学期どこまで歩いたかについて話しをします。二・三年生はすでにわかっていると思いますが、一年生は初めてなので簡単に説明します。皆さんの中で、徒歩通学の距離が一番長い人は、たぶん桧町四丁目に住んでいる人だと思います。片道約三ｋｍ、往復で約六ｋｍになります。昨年度一年間の授業日数は二〇六日です。これに六ｋｍをかけると一，二三六ｋｍになります。一年間で歩いた距離をＪＲの距離に置き換えると、山形駅から広島駅まで歩いた距離になります。

今年は、昨年度までの歩いた距離にプラスしてどこまで歩いたかを話したいと思います。一学期の授業日数は七四日間ですから、六ｋｍ×七四日で四四四ｋｍ歩いたことになります。いままで歩いた一，二三六ｋｍに四四四ｋｍをたすと一，六八〇ｋｍになり、ついに海を渡り（実際には海底トンネルですが）九州に入ります。福岡県、佐賀県を通過し熊本駅まで歩いた距離になります。

どうですか、一年生の皆さん。「ちりも積もれば山となる」ということわざもあるように、一日にすれば小さな数字かもしれませんが、その一日一日を積み重ねていくと「大変な数字」や「すごい力」になるんですね。

さて、今年度の五中が重点的に取り組む項目の中に、昨年度に引き続き「地域の方と自然にあいさつができる生徒」の育成があります。昨年度は四月からかなり頑張って「あいさつ運動」に取り組んだつもりだったのですが、地域の方から「五中生のあいさつは昔の方が良かった」という声をいただき、とても悔しかったという話を全校朝会でしました。あれから一年経ちました。今年の六月、ある会合で地域の複数の方から「五中生からあいさつされてとてもうれしい。元気をもらっている」「毎朝あいさつを交わすのが楽しみだ」という声を多数いただき大変うれしくなりました。「あいさつ運動」の成果が着実に現れていると感じるとともに、改めて「継続は力なり」「一日一日のあいさつの積み重ねが大事なんだ」と思いました。

また、ある保護者の方から「自分の子供が近所のおばあちゃんにあいさつをしていることを知らなかった。スーパーで買い物をしている時、そのおばあちゃんから『お宅の子どもさんからあいさつされてとてもうれしかった』と感謝の言葉をいただいた。今まで気づかなかったが、子供が近所の方にあいさつをしていることを知りうれしくなった」というお話をお聞きしました。

一方で、あいさつを全く返してくれないという声も聞きました。その方は、夕方帰宅する子供たちに「お帰りなさい」と声をかけているそうですが、小学生はあいさつを返してくれるのに、中学生は全く返してくれないとのことです。私も夕方のあいさつは想定していませんでした。大変反省しています。

ただ、あいさつをしない生徒の中には、「お帰りなさい」に対してなんと返事をすればいいのかわからず、結果的にあいさつしない生徒もいるかもしれません。そこで、皆さんに探究型学習の課題を出します。課題は「地域の方から『お帰りなさい』と言われたらなんと返事しますか？その理由もあわせて考えてください。」答（＝返事）は一つとは限りません。また、朝や夕方だけではなく、いろんな時間帯に合ったあいさつも考えてみましょう。個人個人考えたら、それぞれの答をみんなで交換してみましょう。「なるほど！」と参考になる答がたくさんあるはずです。そして、いろんな場面に応じたあいさつができる五中生になっていければいいですね。

あいさつに関連した話しをもう一つします。昨年度の全校朝会で話をした「横断歩道で、わざわざ車を止めて横断させてくれた運転手さんにお礼の気持ちを表しましょう」ということについてです。今年になって、学校の北西角、公文教室前の横断歩道ですが、止まってくれた車にお礼をする五中生をたくさん目にします。大変うれしく思っています。このことも、あいさつと同じで「横断歩道での五中生のお礼がいいね」という運転手さんが少しずつ確実に増えていけば、五中生に対する印象がよくなるだけではなく、「横断歩道に五中生が立っていたら止まらなければ」という安心安全につながっていくはずです。そして、この「横断歩道でのお礼」が五中の伝統になっていけばいいなと思います。

今日は一学期を振り返って、「あいさつ」と「横断歩道でのお礼」について話しをしました。今日はいいことを中心に話をしましたが、まだまだ頑張らなければならない部分もたくさんあります。二学期はもっと多くの「うれしい声」がこの五中に届くように、一人一人「五中生らしく」行動していきましょう。

（校長　阿部　善和）

平成30年度　秋季大運動会　結団式 2018.7.18

実行委員会式典部長
大内　蘭さんの進行

実行委員長
板垣涼太さんのあいさつと
スローガン発表

超戦　～限界を超えて奇跡を起こせ～

実行委員長から「組頭」のはちまきを授与された、赤軍組頭「斎藤海成南さん」白軍組頭「髙橋楽空さん」。両組頭はステージ上ではちまきをつけ、お互いにエールの交換を行いました。いよいよ、運動会の活動が本格的にスタートします。

五中生としての誇りを胸に!

運動会は9月1日（土）五中グラウンドで開催

白　　軍			赤　　軍	
髙　橋　楽　空	３年５組	組　頭	斎　藤　海成南	３年６組
吉　田　柊　一	３年１組	副　組　頭	大　沼　凜　虹	３年４組
阿　部　純　佳	３年３組	副　組　頭	半　澤　大　空	３年４組
菊　池　広　大	３年５組	団　長	安　西　優　心	３年６組
武　田　叶　渉	３年３組	副　団　長	北　澤　怜　朗	３年６組
山　口　真　奈	３年３組	副　団　長	向　江　　楓	３年６組
佐々木　優　羽	３年１組	作　戦　部　長	佐　藤　圭　佑	３年２組
井　上　敢　太	３年１組	作戦副部長	武　田　啓　優	３年２組
黒　坂　杏　実	３年５組	作戦副部長	桂　　佳　恵	３年６組

躍動　～五中生の活躍～

山形市中学校文化連盟美術専門部主催
第三回山形市Ｄ１グランプリ

　優良賞　遠藤　華鈴　三年

第四二回山形市中学校美術部展

　特選　植木　若菜　三年
　特選　吉田　奏来　二年

山形市夏休み生活標語

　優秀賞　北澤怜朗　三年
「ライバルと　切磋琢磨し　日々進夏」
　入選　長谷川　環　三年
　入選　佐藤　蓮　二年
　入選　金沢隼太郎　一年

「社会を明るくする運動」
山形市推進委員会

「家庭の日」標語

　最優秀賞　吉田　奏来　二年
「おかあさん　スマホじゃなくて　私見て」

「社会を明るくする運動」標語

　優秀賞　川俣　知央　二年
「「大丈夫？」その一言が　助け船」

平成三十年度全日本吹奏楽コンクール
第四十九回山形県大会村山地区予選会（七月一四日）

優秀賞　吹奏楽部（四年連続　県大会出場）

工藤紗貴　細谷芽生　向田衣莉奈　長岡朋希　市川里亜　金成紗弥
後藤仁希　佐藤聖空　永澤結愛里（以上三年）
佐藤芽生　高橋明日香　髙橋結来　飯野亜梨朱　石井　杏　大沼優衣
村形歩美　鑓水希有　安達愛菜　内田修平　鎌田来未　佐藤　蓮
（以上二年）
赤松　葵　小林菜々（以上一年）

県大会は七月二十九日（日）に、「やまぎんホール」で開催

第五十八回山形県中学校総合体育大会の主な結果
平成三十年七月二十日（金）～二十三日（月）

《団体》（東北大会出場）

第二位　女子バレー　東北大会
會田ななみ三年　岩田　央三年　阿部純佳三年　新関日愛里三年
石黒楓和三年　鈴木萌乃三年　半澤大空三年　竹村　花三年
秋場由姫一年　秋葉瑞来一年　白壁若葉一年　佐藤琴音一年

《個人》（入賞・東北大会出場）

優　勝　鈴木優太三年（水泳男子四〇〇ｍ個人メドレー）東北大会
　鈴木優太三年（水泳男子二〇〇ｍ個人メドレー）東北大会
　長岡愛海一年（水泳女子一〇〇ｍ背泳ぎ）東北大会
第二位　向江　楓三年（新体操総合二位、フープ二位、ボール二位）東北大会
第三位　北澤怜朗三年（水泳男子四〇〇ｍ個人メドレー）東北大会
　北澤怜朗三年（水泳男子二〇〇ｍ個人メドレー）東北大会
第五位　冨樫晴乃一年（水泳女子一〇〇ｍ平泳ぎ）
第七位　長岡愛海一年（水泳女子二〇〇ｍ背泳ぎ）
第八位　長岡愛海一年、吉田葵唯二年、冨樫晴乃一年、國井椎菜二年（水泳女子四〇〇ｍメドレーリレー）

東北大会（期日、会場）　　ガンバレ！五中生！

バレーボール	8月8日～10日	青森市
新　体　操	8月8日～10日	宮城県利府町
水　　泳	8月3日～ 5日	米沢市

「人権の花」運動　七月十九日（木）

山形市人権擁護委員の方（小関徳雄様　第十一代校長）からお話をお聞きし、人を思いやる活動やいじめをなくす活動など、生徒会執行部のみなさんを対象に、人権を考えるきっかけとして、「人権の花運動」を行いました。

日本国憲法の「基本的人権の尊重」である、「生まれたときから平等に与えられた権利」を日常生活の中に意識して大切にして、全校生徒に伝え、家庭でも伝えてほしいというお話でした。

人権について大事なことは、差別や仲間はずれをしないことで、具体的には、「己の欲せざるところ人に施すことなかれ」（自分がされて嫌なことはひとにしてはいけない）というわかりやすい言葉でした。また、「生徒会の活動がスムーズにいかず困っている」という質問に対して、「一回では伝わらないことも多いので、必ずそうなってくれると信じて、繰り返し繰り返し説明することや、自分の家の近所の方にも協力を得ることなど、あきらめず続けることが大切です」というアドバイスをいただきました。

最後、グラウンドフェンス付近に植える「松葉菊」をいただきました。「松葉菊」の花言葉は、「忍耐、ゆったりとした気分、心広い愛情」などです。花を育てる心は人を大切にする心や想いです。そのような心を、変わらず持ち続ける五中生であることを願いながら無事行われました。

校内弁論大会　七月二十七日（金）

学年代表二名ずつの計六名で「校内弁論大会」を行いました。

六月下旬から下書を始め、各学級でお互いの弁論を発表し、学級代表を選出しました。その後、各学年で学級代表の発表を行い、学年代表二名を選出しました。

弁論一人一人の堂々とした態度、気持ちのこもった弁論の内容を、全校生徒もしっかり聞いている姿が印象的でした。

〈各学年の代表生徒と論題〉

三年代表
- 向田衣莉奈さん　「将来の夢とは」
- 菅原拓真さん　「不幸と不自由の関係」

二年代表
- 坂入美穂さん　「同調」
- 齋藤和希さん　「良い嘘と悪い嘘」

一年代表
- 鈴木愛深さん　「命」
- 佐藤姫花さん　「半分だからこそ」

学校代表に選ばれた生徒は、九月の「少年の主張大会」に学校代表として出場します。

これからの予定

七月

二十七日（金）　一学期終業式
二十八日（土）～八月二十日（月）
　夏休み
二十九日（日）　吹奏楽コンクール県大会
三十　日（月）　三年生三者面談開始
　二年自主学習会
三十一日（火）　三年学習会

八月

二日（木）　一年・三年学習会
三日（金）　一・三年学習会
三日（金）　二年自主学習会
十三日（月）～十六日（木）学校閉校日
十九日（日）　五中学区
　ＰＴＡ親善球技大会
※今年度も、五中会場で、ソフトボール、ソフトバレーボールを実施する予定です。
　多くの参加をお待ちしております。
二十一日（火）　二学期始業式
二十九日（水）　第二回部活動
　保護者代表者会

地域の一員として「夏休みボランティア活動」

五中では、生徒たちが自分の住む地域へ帰属心や奉仕の精神を大切にすると共に、その育成にも力を入れていき、さらに自己判断力の育成にもつながる力を伸ばしていきたいと考えています。

そこで、町内会長様と連絡を取りながら、今年度も夏季休業中に自発的な奉仕活動（貢献活動）を予定しています。町区班ごとの活動なので、活動日時、活動内容、持ち物などが違います。生徒たちの活動している姿をぜひご覧いただき、一声かけていただければ生徒たちの大きな励みになることと思います。

□期間…七月二十八日～八月五日（一時間程度）
□活動場所…各町区の公園、集会場等